

こんにちは ふるいち順子です

※私からのお願い※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介ください。

発行 古市順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huritij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~hurutij/

NO. 182 2021年5月号



今年は、紅白混じったさつきがきれいに咲きました。御屋敷公園のつつじもぼつぼつ見頃でしょう(5/11)



相談事は、お気軽にご連絡ください

5月、新緑が美しいさわやかな季節となりました。

しかし、コロナ感染は、収束の決定打と言われたワクチン接種率が、人口比で世界118位と非常に遅れており、収束の見通しが立ちません。上田市においても、ワクチン接種が5/10から始まっていますが、「予約ができない。」など、苦情や問い合わせが市や医療機関に多く寄せられ、現場は混乱しています。市としては早くから会場や人的体制整備を進め、医療関係者の皆さんにもご協力をいただいておりますが、ワクチン供給がはっきり見通せないことが、混乱の一番の要因です。菅政権のコロナ対策の無策ぶりが明らかとなっています。こんな状況でも菅首相は『五輪実現可能』と述べています。日本共産党は、「政府として直ちに中止の決断をすること」を強く求めています。(下記に志位委員長の記事の要旨を記載)

4/25に投開票が行われた参院長選挙区補欠選挙で、市民と野党の統一候補・羽田次郎氏が県内すべての小選挙区で、自民党候補を上回りました。2016年、2019年参院選に続く市民と野党の共闘の勝利は、北海道2区補選、広島再選挙の野党共闘の勝利と合わせて、全国に希望を発信しました。次は秋までに行われる総選挙。比例代表選挙では、日本共産党をよろしく願います。(5/11)



5月3日、憲法記念日、今年も正午から、上田市議団、高村県議と宣伝を行いました。

私はコロナ禍の中で、改めて憲法を活かした政治が求められることをスピーチしました。特に25条は、生存権といわれる「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という1項と「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」の2項があります。

5/6、衆院憲法審査会で、改憲のための手続きを定めた国民投票法の改定案が修正のうえ、可決されました。菅首相は国民投票法改定について、安倍前首相が提起した改憲を促進する「最初の一步」としています。

また、コロナ感染拡大は、「緊急事態」だとして、緊急事態条項の創設に言及しています。憲法への「緊急事態条項」の創設は、国民の基本的な人権を停止する「独裁国家」への道です。コロナの感染拡大に便乗して「緊急事態」だからと改憲をせき立てるのは、文字通りコロナに便乗した最悪の「火事場泥棒」です。

国民投票法の改定を機に、危険な改憲のための弾みをつけようという「安倍・菅改憲」を市民と野党の力で阻止しましょう。

参院補選の最終日、上田駅前には野党と市民の代表が勢ぞろい。日本共産党は藤野やすふみ衆院議員



5月9日、藤野やすふみ衆院議員の全県キャラバン。丸子のベルパーク内で、

五輪中止の決断を求める日本共産党の記者会見

日本共産党の志位和夫委員長は、5/6、記者会見を行い、今夏の東京五輪・パラリンピックについて、「コロナ対策と両立しないことはいよいよ明らか。開催国政府として直ちに中止を決断し、関係諸団体と調整することを強く求めたい。」と述べました。その三つの理由は…

- ① 開催国・日本でワクチン接種が大変遅れている。
- ② フェアな大会にならない。全世界のアスリートが同じ条件で競い合う五輪にならないことは明らかだ。
- ③ 医療従事者を五輪のために、医療現場から集めることに現実性がない。コロナ禍で大変な医療現場に更なる負荷を強いるのは正気の沙汰ではない。

ふるいち事務所移転のお知らせ【2021年6月～】

真田町本原荒井の国道144号線沿いに、事務所をお借りして、7年半経ちますが、この度家主さんのご都合で、5月末で退去することとなりました。わかりやすい場所で駐車場もあり、党活動だけではなく、真田9条の会や、東信医療生協、新婦人などの活動に利用されてきました。ご近所の方には駐車場が足りない時お借りしたり、大変お世話になりました。ふるいち事務所は、竹室神社そばの自宅の離れに移転します。



通り沿いで、宣伝にもなった事務所ともお別れです。6月から取り壊されます。



4月17日、上田市役所本庁舎の竣工式がありました。高



2階フロアに、生活支援、納税窓口、市民相談、消費者生活相談、生活環境など、集約されました。



4月18日、2年ぶりに上田市消防団本原分団の総会が開かれ、挨拶させていただきました。

前号からの活動報告

- 4/17 女と男うえだ市民の会総会
- 4/18 上田市消防団本原分団総会 山家神社春季例大祭
- 4/20 青木村議選出發式 羽田次郎氏総決起大会
- 4/21 上田市議会会派代表者会
- 4/22 健康づくり推進特別委員会
- 4/26 上田駅前宣伝
危機管理防災課と懇談(新婦人・労連、生理用品の件)
- 5/ 1 旧上田市議場のお別れ会
- 5/ 2 ふるいちブロック スタンディング【住吉交差点】
- 5/ 3 憲法記念日駅前宣伝【上田駅前】
「アベ(スガ)政治を許さない」スタンディング【真田】
- 5/ 9 藤野やすふみ衆院議員キャラバン、女性宣伝行動
- 5/10 上小・東御生活と健康を守る会理事会

これからの予定(5/11現在)

- 5/11 健康づくり推進特別委員会
- 5/12 菅平観光協会と県議団・市議団との懇談会
- 5/13~14 市町村議会議員 Zoom 研修会

ちょっと耳より情報

市が配布する「生ごみ出しません袋」の活用を!

市では、生ごみを自家処理し、ごみとして出さない世帯に、小サイズの燃やせるごみ用の袋を、年に一回、一世帯30枚、平成28年度から配布しています。今年も5/17から、クリーンセンターと各自治センターで、受付が始まります。「申請書兼宣誓書」に記入して現物が渡されます。私も毎年重宝しています。また、生ごみ処理機やコンポストの購入に、8割の補助【限度額あり】がありますので、ご活用ください。

我が家の庭だより

連休は、事務所移転のため、物置と化していた離れの片づけに、ほぼ費やしました。不要な物の選別はなかなか手間がかかります。この際断捨離しようと思いましたが、つい再利用できないかと考えてしまいます。よかつたのは、たくさんあった絵本を買取はできないが、寄付をするということ、引き取っていただけました。大きな物や重い物は、子どもたちに運び出してもらい、私は細々したものを整理しました。夫は、民主的な団体の活動だけではなく、地域でもJAの役員や、活性化組合、神楽保存会など、いろいろやっていて、その資料やノートが残されています。夫の活動の足跡を偲びながら、慎重に分別しました。

畑の方は、ジャガイモが芽を出しました。わずかずつ植えたレタス、キャベツ、白菜の苗は、寒冷紗をかけておいたので、順調に育っていますが、モロコシの苗は、霜よけをかぶせておいたにも関わらず、半分ダメでした。玉ねぎは植えるのが遅かったせい、育たなかった苗も結構ありました。冬に食べられなかった、ほうれん草が大きくなり、びっくりです。アスパラは期待したほどでもないですが、ぼつぼつ収穫できます。

4月25日は長男の結婚式でした。コロナ禍で12月の予定を延期し今回もできるかどうか、ぎりぎりまで迷っていました。やはり、職場で出席を止められているなど、出席できない方も多かったようです。それでも、参加者の皆さんから、二人の新たな門出を温かく祝福していただき、親としても大変うれしく、両家のあいさつをさせていただきました。

